

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 6 日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 松井 義隆		
環境-21	実施事業	今泉クリーンセンター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境センター
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	環境施設課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今泉クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。</li> <li>・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための粗大ごみ処理施設、中継施設等の運転及び維持管理を行った。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	74,714人	75,020人	75,222人	75,222人	75,222人	75,222人	
	90,978	98,583	98,583	134,917	134,917	134,917	
運営資源状況	国県支出金				国県支出金		
	地方債				地方債		
	その他	16,169	17,608	17,608	その他	29,856	
	一般財源	74,809	80,975	80,975	一般財源	105,061	
	人員配置数	1.9	1.9	1.9	人員配置数	3.0	
				会計年度任用職員配置数	4.0		
事業経費運営	人件費(千円)	15,670	16,395	16,395	人件費(千円)	31,597	
	総事業費(千円)	106,648	114,978	114,978	総事業費(千円)	166,514	
	市民1人当りの経費(円)	605	652	652	市民1人当りの経費(円)	943	
	1,427	1,533	1,533	対象者1人当りの経費(円)	2,214		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンドで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
		○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 粗大ごみ処理施設、中継施設等として適正に運営するための必要な維持管理を行う。 名越CC稼働停止後、その跡地に中継施設を整備した後は、今泉CCはその役目を終え、跡地に生ごみ資源化施設を整備する計画である。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	一般廃棄物の処理については市町村の責務となっており、適正な施設管理によって、事業系一般廃棄物の受入れ、搬送業務を確実に行う必要がある。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつての課題 (前年度未解決の事項を含む)	施設の老朽化による継続的な維持管理と、臭気対策の継続的な施設運営を要する。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	搬出施設運転等業務の受託事業者との連携による安定的なごみの搬出を行うことで、臭気対策も併せた施設管理を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	老朽化が進む施設の維持管理と、継続的な臭気対策を行っていく必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	1日当たりの中継施設搬出量					単位	トン/日	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)		
1日当たりの標準搬出量(30トン)に対して、効率よく積込むことにより上積みを図る。	目標値	30トン/日	30トン/日	30トン/日	30トン/日	30トン/日	30トン/日		
	実績値	24トン/日	36トン/日	43トン/日	45トン/日	42トン/日	40トン/日		
	達成率	80.0%	120.0%	143.3%	150.0%	140.0%	133.3%		

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	ごみを安定的かつ効率的に焼却施設へ搬出していく。
-----------------------	--------------------------